

第29回実務委員会(二〇二二年 秋) 報告

二〇二三年十月、前回に引き続き、文書による実務委員会となりました。協議案件についての意見の集約をし、具体的な話し合いはこれからとなりますが、実務委員会での報告及び協議案件を報告します。状況としてはかなりシビアです。

●総務部

1 今年度の中間決算について

今年度上半期の収入に対して、支出は二二〇万円程の赤字決算となりました。下半期も同様の赤字決算となる見込みです。

2 今後の地中海の財務展望

会員数減少により、会費収入が減り続けています。二〇二〇年(令和二年)より赤字決算となり、繰越金を切り崩しながらなんとか賄っていましたが、このままでは数年後には経済的に地中海の存続ができない状況になります。

そこで、対策案として、①会費の値上げ ②寄付金を募る

③本社を撤収する ④会員を増やす 等が挙げられます。

③については、印刷発行費に次いで大きな支出をしているのが本社の賃借料です。そこで本社を引き払い、編集・総務に分散してはという考えです。しかし、作業や会議については貸し会議室等を利用するにしても、本社に保管している地中海遊書やバックナンバーをどうするか、各結社等から送られてくる歌誌や歌集などの受け取り先をどうするか等、さまざまな問題があります。

地中海を存続させるために、今おこなうべきことは？

3 全国大会の開催について

コロナ禍で延期が続いている創刊70周年記念全国大会ですが、来年度開催できるかどうか。

4 役員の内期終了について

今期の役員任期は、二〇二三年(令和五年)三月末日まで。

5 名簿作成について

来年度四月末の所属会員をもとに、名簿を作成する予定ですが、個人情報扱いについて、費用について、どうするか。

●編集部

二〇二〇年五月以降、本社での作業を控え、編集作業は編集長が自宅でもやり、印刷所に入稿。校正作業は分担して各自の自宅でやってもらったものを編集長が見直した後に印刷所に戻し、再校までおこなっています。また、本社に届いた郵便物や雑誌類については、磯田ひさ子さんに対応してもらっています。まだ当分の間は、これでいくしかないと思いますが、どのタイミングで原稿の送り先を本社に戻すべきか、悩ましいところで。創刊70周年記念号(五月号)を皆様のご協力のお蔭で無事に発行できました。ありがとうございました。

●地中海社・実務委員

編集部：久我田鶴子・関根和美・磯田ひさ子・市原志郎

木村文子・高尾恭子・田土成彦・玉井綾子

檜垣美保子・藤田美智子

総務部：藤森巳行(名簿・発送)・小野雅子(庶務)

茂木斌(原稿用紙・九曜書林会計)

永塚節子(会計)・大浪美雪(会計・副)

監査委員：佐久間晟・牧 雄彦

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)
 ②住所 ③電話番号 ④生年月日
 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。

各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二〇〇〇円
- ・ B欄 一五〇〇円
- ・ C欄 一〇〇〇円
- ・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勧誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙のご注文について

一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのご注文がお勧めです。本誌、または担当の茂木斌までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。ただし、七〇周年記念号については、一冊二〇〇〇円です。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただけます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題でも)②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありますが、常駐する者がおりませんので、誰かが本誌で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・ 藤森：TEL 090-8301-6423

・ 久我：TEL & FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本誌の発送について

毎月、藤森巳行が宛名シールを作成し、印刷所から発送してもらっています。万が一、届かなかった場合には、担当の藤森までご連絡ください。

● 故・本田良一 略歴 ●

昭和15年4月24日生まれ
 昭和39年電電公社入社
 平成3年6月 熊本県議会議員当選 NIT退職
 平成10年7月 衆議院議員
 「地中海」会員として
 約四十年間作歌した
 歌集「深紅」(平成13年)
 令和4年7月22日 永眠
 (享年82歳)

神田通信

●歌稿の送り先について●

一月以降も

月々の歌稿の送り先は

263-0031 千葉市稲毛区稲毛東

6-10-2-1202

関谷方 久我田鶴子

締切は、毎月十日必着です。

郵便物の土曜日配達が十月から休止、届けられる日数も繰り下げとなりました。

時間の余裕をもってお送りください。

新型コロナウイルスによる

状況が落ち着くまで本社に集まって作業することを控えています。

◆私の住む街の市立図書館が駅前の商業ビルに移転する案が浮上している。情報・効率の時代

のにおいがする。閲覧室の窓からの緑も消える。

(檜垣)

◆11月8日、皆既月食と天王星

食が観測された。次に皆既食中に惑星食が起るのは32年後の予想。その時、地球に人類は存在しているか？

(藤森)

◆机辺にある「消しゴム」、業界では「字消し」と呼んでいる

というのを知る。メーカーでは「日本字消工業会」の名で手を結んでいるのでした。字消しの達人。

(茂木)

◆豪州へ三年ぶりにクリスマスカードが出せた。コロナ禍、あちらからは届いてもこちらからは受けなかったからだ。メールでの挨拶も便利だが、やはり

カードはいい。

(和美)

◆誰彼かまわず、あんなに勧誘するのはどうしてなんだろう。老人はともかく子どもにまで手を伸ばしてどうかと思う。何の話かって、言えない。

(成彦)

◆とうとう新型コロナウイルスに感染してしまった。自分の症状の辛さよりも、移してしまっただけ

という不安や自分の役割を果たせないことの申し訳なさが想像以上だった。

(藤田)

◆ウクライナから避難してきた母娘と知りあった。母親は爆撃のトラウマで引き籠もっていたが、今ではボルシチを作って私の誕生日を祝ってくれるほどになった。夫や多くの友人は祖国に残っている。辛い話題を避けてメールのやりとりをしている。

(高尾)

◆NHK朝の連ドラ「舞い上がれ!」の脚本家の桑原さんは塔短歌会所属とか。ドラマ内の古本屋の名前「デラシネ」からは五木寛之の書籍名を思い出した。

(玉井)

◆小ぶりのみかんが定番だったのに、今年は大きい実が。春先に若木に植え替えた由。若木は力があるのだろう。何か人間に似て複雑な思いです。

(磯田)

◆かつてあった、北海道拓殖銀行、「たくきんさん」と呼んで親しんでいたの、道外では「ほくたく」と呼ばれているこ

とに違和感と悲しみを覚えた。拓銀破綻から、今年で25年である。

(木村)

◆二〇二二年度誌上全国大会、二十一ページに及ぶポリウムとなりました。参加して下さった皆様、ありがとうございます。そして、新型コロナに感染しながらも最後までまとめた藤田美智子さんと新樹の会の皆さんの奮闘にも感謝!

(久我)

◆新年早々ですが、地中海の現状はかなり厳しいこともお知らせしなくてはなりません。対策を打たねばならないギリギリのところに来ています。

(久我)

◆創刊100周年という声もあった昨年。しかしながら、存続のためにはお金のことを避けて通るわけにはいきません。皆さんもどうか一緒に考えてください。実務委員会における協議結果の報告は次の号にて。

(久我)

◆ともあれ、二〇二三年。今年もよろしくお願いたします。辛多からんことを!

(久我)